

消 防

1. 消 防 力	295
2. 活 動 状 況	296
3. 防 災 対 策	297
4. 消 防 団	299
5. 職 員 ・ 団 員 の 処 遇	299



▶ 消防出初式

消 防

高齢化の進行，都市形態や生活形態の多様化に伴い，複雑に変化する災害や救急需要の増大に対応するため，各種災害に迅速的確に対応できる消防救助活動体制と救命効果の向上を目指した救急救命体制の充実を図るとともに，火災の防止及び被害の軽減に向けた火災予防対策の充実に努めるなど，安心して暮らせるまちを目指して，市民と連携しながら，総合的な消防・救急対策に取り組んでいる。

平成23年度は，消防ポンプ自動車5台を含む消防車両10台を更新整備するとともに，南消防署喜入分遣隊庁舎整備に係る実施設計や消防救急無線デジタル化に向けた基本設計等を行うなど，消防体制の充実を図った。

救急業務については，桜島西分遣隊の救急車を高規格救急車に更新し，救急救命士による運用を開始するとともに，救急救命士の技術向上や「気管挿管」及び「薬剤投与」が実施できる救急救命士の養成のため，病院実習等を行ったほか，市民に対して，AEDの使用法を含む救命講習の実施に努めるなど，救急救命体制の充実を図った。

また，「安心安全火の用心サポーター」を活用した住宅用火災警報器の設置促進をはじめとする住宅防火対策を推進し，火災予防対策の充実に努めた。

1 消防力

(1) 人員・車輛 (平成24.4.1現在)

消 防 職 員		配 置 車 両	
定数 479人	現員数 473人 うち消防吏員 470人	(ポンプ車・はしご車・救急車) (その他の) (他 緊急自動車 (車 両) 消防署 96台 消防団 89台 (小型ポンプ) 74台	
消防職員1人に対する		消防 (署) ポンプ自動車1台に対する	
人口帯面積	1,280人 565世帯 1.16km ²	人口帯面積	17,303人 7,631世帯 15.63km ²

(2) 人員・車輛等内訳 (平成24.4.1現在)

消 防 職 員	人	消 防 車 両 等	台	通 信 施 設	
消防局長 (正 監)	1	水槽付消防ポンプ車	23	消防緊急通信指令システム	1式
消防防 防 監	3	消防ポンプ車	3	無線 線 設 備	1式
消防防 防 司 令	21	はしご車	2	緊急通報システム	1式
消防防 防 司 令	29	折しはしご車	2	聴覚障害者用ファックス	1式
消防防 防 司 令	45	高所放水塔	1	支援情報システム	1式
消防防 防 士 長	103	化学搬送車	2	災害状況案内装置	1式
消防防 防 副 士 長	102(12)	原液搬送車	3	安心ネットワーク119システム	1式
消防防 防 士	166	水資源工車	1	メール119システム	1式
消防防 防 士	3	救助照明車	2	位置情報通知システム	1式
消防防 防 士	3	支援助車	1		
消防防 防 士	3	資材搬送車	2		
消防防 防 士	3	ミニ消防車・防災車	21		
消防防 防 士	3	指 揮 車	3		
消防防 防 士	3	救 急 車	20		
消防防 防 士	3	その他	16		
※ () 内の数字は再任用職員の数で外数					
合 計	473	合 計	105		

(3) 消防水利 (平成24.4.1現在)

消 火 栓	6,659	防 火 水 槽	926 (40㎡以上527 40㎡未満399)
-------	-------	---------	----------------------------

(4) 職員並びに車両配置状況

(平成24. 4. 1 現在)

区 分	職員	車 両 配 置									計	
		水 槽 付 ポンプ車	ポンプ車	救 助 工作車	はしご車 (屈折式含む)	高 所 放水塔車	化学車	救急車	その他			
合計	定 数 479											
	実 数 473	23	3	3	4	1	3	20	48	105		
内 消 防 署	消防本部											
	総務課	20							4	4		
	警防課	11							2	2		
	情報管理課	17								0		
	予防課	16							4	4		
	中央消防署	係係係係係	3 2 2 6 29 23	1						1	0 1 0 2 6 5 2 3 5 3 4 3 3	
		務第一二導	11(4) 18(2) 19 15 19 9 9		1							
		防防防防防	2 2 2 35 19									
		警警警警警	12(2) 13 15 15			1						
		予予予予予	3 2 2 3 33 13									
		中中中中中	18(2) 21 19									
		南南南南南	2 2 1 1 2									
		谷谷谷谷谷	3 2 3 3									
		協協協協協	18(2) 12(2) 21 19			1						
		喜喜喜喜喜	3 2 2 3 33 13									
西消防署	係係係係係	3 2 2 35 19										
	務第一二導	12(2) 13 15 15			1							
	防防防防防	2 2 2 3 33 13										
南消防署	係係係係係	3 2 2 3 33 13										
	務第一二導	18(2) 12(2) 21 19										
	防防防防防	2 2 1 1 2										

2 活動状況

※職員（ ）内の数字は再任用職員の数で外数

(1) 最近5カ年の火災状況

区 分	年	19	20	21	22	23
出火件数	建物	146	125	135	130	136
	林野	2	0	2	0	1
	船舶・車両	33	23	23	14	19
	その他	85	58	89	39	59
	計	266	206	249	183	215
り災状況	り災世帯	158	115	146	179	124
	り災人員	408	245	343	353	272
	焼損棟数(全半焼)	38	38	39	29	36
	建物焼損床面積 (㎡)	5,099	2,860	3,009	3,311	3,226
	林野焼損面積 (a)	13	0	249	0	0
損害額(千円)	306,677	171,656	153,250	163,424	219,689	

(2) 原因別出火件数

(平成23年中)

原 因 別	件数	原 因 別	件数
こ ん ろ	40	焼 却 炉	4
電 気 関 係	34	排 気 管	4
た ば こ	32	火 入 れ	3
た き 火	23	風 呂 か ま ど	3
放 火 ・ 放 火 の 疑 い	21	溶 接 機 ・ 切 断 機	2
火 あ そ び	9	そ の 他	22
灯 火	7	不 明	6
ス ト ー プ	5	計	215

(3) 予防査察件数

(平成23年度)

対象物 区分	集会場	飲食店	マーケット	ホテル	共 同	幼稚園	学 校	美術館	浴 場 等	停車場等
	興業場等	遊技場 キャバレー等	百貨店等	旅館等	住宅等	福祉施設 病院等		図書館等		
対象物数	247	414	603	113	5,403	978	204	17	40	10
査察延数	125	224	240	30	2,979	613	593	11	30	2
査察率(%)	51	54	40	27	55	63	290	65	75	20

対象物 区分	神社教会 等	工 場 作業場等	倉 庫 駐車場等	事業所 その他	複 合 用 途		文 化 財	アーケード	危 険 物 関 係	計
					イ	ロ				
対象物数	114	995	858	1,251	2,149	3,499	6	14	1,295	18,210
査察延数	66	376	346	621	1,294	2,201	8	12	831	10,602
査察率(%)	58	38	40	50	60	63	133	86	64	58

(4) 救急活動状況

救急車15台 (うち救急救命士運用隊11台) 非常用救急車5台 (平成24.4.1現在)

配置箇所 { 南林寺1台, 上町1台, 吉野1台, 吉田1台, 甲南1台, 桜島東1台,
桜島西1台, 西本署1台, 伊敷1台, 松元1台, 郡山1台, 南本署1台,
谷山北1台, 郡元1台, 喜入1台
(非常用: 中央本署1台, 吉野1台, 甲南1台, 谷山北1台, 喜入1台)

救急隊員 90名

活動状況

(平成23年中)

事故種別 区分	出場件数	搬送件数	搬 送 人 員		
			計	男	女
火 災	128	26	35	17	18
自 然 災 害	0	0	0	0	0
水 難	11	8	8	5	3
交 通 事 故	2,279	2,063	2,237	1,318	919
労 働 災 害	132	131	132	111	21
運 動 競 技	155	153	156	116	40
一 般 負 傷	3,081	2,869	2,882	1,322	1,560
加 害	125	101	105	65	40
自 損 行 為	371	285	286	102	184
急 病	14,074	12,903	12,918	6,531	6,387
そ の 他	3,776	3,266	3,273	1,570	1,703
合 計	24,132	21,805	22,032	11,157	10,875

3 防災対策

(1) 警防対策

建築物の構造, 地理水利の状況, 消火・延焼・人命危険等の各要素を消火的見地から総合的に判断し, 火災が発生した場合に人命危険が高く, また, 消防活動上困難が予想される地域等について, 毎年1回以上の現場調査を行い, 予防査察や警防訓練を行うとともに, 防火指導を実施して住民の防火意識の高揚を図っている。

(2) 中高層建築物対策

中高層建築物に対する消防体制として、はしご車 4 台と高所放水塔車 1 台を三署に配備している。また、建築設計のときから安全避難及び救助その他の消防活動等を有効に確保するための指導を行うとともに、定期的に中高層建築物調査や警防査察を実施し建物の状況把握に努めている。さらに、消防総合訓練研修センターの高所訓練塔や実地の建物を使用して伸梯訓練や救助訓練等を行うとともに、はしご車等を配置している各署の隊員に対し、はしご車等要員研修を行い、隊員の能力向上を図っている。

4 階以上の建築物状況

(平成24.4.1 現在)

4 階	5 階	6 階	7 階	8 階	9 階	10階	11階以上	計
2,959	1,960	568	353	270	135	148	234	6,627

(3) 危険物火災対策

危険物火災対策として化学消防車 3 台、高所放水塔車 1 台、泡原液搬送車 2 台、作業車 1 台と泡放射器材を装備した車両26台の計33台があり、泡原液の保有量は59.16 klである。災害規模の大きな非常事態の場合、消防相互応援協定等に基づき、化学消防車および泡原液等を集結させる。これらの危険物施設に対しては積極的に消防演習や訓練を実施するとともに、定期的に消火薬剤の放射訓練などを行っている。

油槽所別数量表

(平成24.4.1 現在)

区 分	種 別	タンク数	数量 (kl)
谷 山 港 一 丁 目	第一石油類	14	39,859
	第二石油類	14	48,232
	第三石油類	11	27,346
浜 町	第二石油類	1	500
	第三石油類	2	1,600
喜 入	第一石油類	61	7,398,127
合 計		103	7,515,664

4 消防団

(1) 消防団員の実員及び報酬

(平成24. 4. 1 現在)

階 級	区 分	定 員	実 員	報 酬 (年額)
団	長	1 人	1 人	86,300円
副 団	長	10	10	68,800
分 団	長	74	72	62,200
副 分 団	長	71	71	40,700
部	長	125	120	38,700
班	長	307	291	37,700
団	員	933	946	36,700
計		1,521	1,511	

上記報酬以外に費用弁償として

- 1 水火災、警戒、訓練に従事した場合 1 回につき6,400円 (軽作業3,200円)
- 2 分団の庶務従事者 月額3,200円
- 3 消防車運転整備従事者 月額3,000円

(2) 消防団員の年齢

(平成24. 4. 1 現在)

団員数	18歳以上 20歳未満	20歳以上 25歳未満	25歳以上 30歳未満	30歳以上 35歳未満	35歳以上 40歳未満	40歳以上 45歳未満	45歳以上 50歳未満	50歳以上 55歳未満	55歳以上 60歳未満	60歳以上	平均年齢
1,511	1	15	62	136	194	186	163	207	245	302	48.9歳

(3) 消防団員の勤続年数

(平成24. 4. 1 現在)

団員数	5 年未満	5 年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上 20年未満	20年以上 25年未満	25年以上 30年未満	30年以上	平均勤続 年 数
1,511	320	317	231	196	147	132	168	14.3年

(4) 保有機材

(平成24. 4. 1 現在)

水槽付ポンプ自動車 3 台, ポンプ自動車19台, 団指令車 1 台, 小型動力ポンプ積載車63台, ミニ消防車 (小型動力ポンプ積込) 3 台, 小型動力ポンプ 8 台

5 職員・団員の処遇

(1) 賞じゅつ金等

消防吏員及び団員は、消防業務を遂行するに当たって、危険な場面に遭遇してもその任務を遂行しなければならないが、この職務遂行に当たって、後顧の憂いなく、業務に専念できるようにこの制度が設けられた。職務を遂行したことによって、死亡又は身体に障害が存することとなった場合にこの賞じゅつ金等を支給する。

殉職者特別賞じゅつ金…	1,500万円		
殉職者賞じゅつ金…最高	1,140万円	最低	450万円
障害者賞じゅつ金…最高	900万円	最低	18万円
死亡見舞金…	1,500万円		
障害見舞金…	1,500万円以下	最低	36万円

(注) ①賞じゅつ金支給対象の場合は、見舞金が併給される。

②殉職者特別賞じゅつ金を支給する場合は殉職者及び障害者賞じゅつ金は支給しない。

(2) 団員の退職報償金

国の定める基準に従い消防団員退職報償金条例を制定し支給している。

(平成24. 4. 1 現在)

階 級	勤 務 年 数					
	5年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上 20年未満	20年以上 25年未満	25年以上 30年未満	30年以上
団 長	189,000円	294,000円	409,000円	544,000円	729,000円	929,000円
副 団 長	179,000	279,000	379,000	484,000	659,000	859,000
分 団 長	169,000	268,000	363,000	463,000	609,000	799,000
副 分 団 長	164,000	253,000	338,000	428,000	574,000	759,000
部長及び班長	154,000	233,000	308,000	388,000	514,000	684,000
団 員	144,000	214,000	284,000	359,000	469,000	639,000